

## 〈 セミナーのご案内 〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご覧につき、ご高配をお願いいたします。

回 覧 

--	--	--	--	--

高等教育活性化シリーズ 241 (通算 562 回)

2013 年 8 月 5 日 (月)

研究計画調書進化へのシナリオ——

# 科研費の申請・獲得策とその実際 Ⅲ

高等教育活性化シリーズ 242 (通算 563 回)

2013 年 8 月 7 日 (水)

USR の試練と内部統制の強化——

# 研究活動倫理の検証と進化策

研究計画調書進化へのシナリオ——

## 科研費の申請・獲得策とその実際 Ⅲ

～ 調書のチェックポイント/説明力アップへの支援力/改善事例 ～

- ※ 研究計画調書の見方、読み方/書き方マニュアル、セミナー/面談・メールアドヴァイス/フォローアップ
- ※ [明治大] 教員からの実践報告/私の採択の履歴、連戦連勝/再三リベンジで初獲得
- ※ [東京医科大] 学長・研究支援課・医学総研(研究者)の三位一体の改革/3年間の実績と今後
- ※ [地方国立大] 研究推進戦略と研究マネジメント/科研費申請・獲得支援アクションの要点
- ※ [パネル討論] 科研費獲得に向けてのシナリオ～支援スタッフと教員・研究者の協働

### ● 講師陣 ●

- 岡野 恵子 氏 / (国) 京都大学 南西地区 URA室
- 大黒 岳彦 氏 / 明治大学 情報コミュニケーション学部 教授
- 小原 学 氏 / 明治大学 理工学部 専任講師
- 中島 利博 氏 / 東京医科大学 医学総合研究所 運動器科学研究部門 教授
- 山崎淳一郎 氏 / (国) 弘前大学 研究推進部長
- 小澤 芳明 氏 / 明治大学 研究推進部 生田研究知財事務室 事務長

2013 年 8 月 5 日 (月) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)

USR の試練と内部統制の強化——

# 研究活動倫理の検証と進化策

～ “責任ある研究活動”とは/行動規範・ガイドラインの運用評価/教育・研修システムの進化 ～

- ※ ミスコンダクトと倫理/科学者の行動規範と倫理/行動規範の問題とその根底/今後の対応
- ※ CITI ジャパン プロジェクト/“取締り”から“教育”へ/行動規範教育のカリキュラム構築/グローバル研究者育成
- ※ “責任ある研究活動”/研究推進のアクセル&ブレーキ/学生対象科目「研究倫理概論」/広報活動と委員会体制

### ● 講師陣 ●

- 浅島 誠 氏 / (独) 日本学術振興会 理事  
(独) 産業技術総合研究所 幹細胞工学研究センター長
- 福嶋 義光 氏 / (国) 信州大学 医学部長・教授  
大学間連携「CITI Japan プロジェクト」事業統括
- 深澤 良彰 氏 / 早稲田大学 理事 (研究推進統括・情報化推進)・理工学術院 教授

2013 年 8 月 7 日 (水) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)



地域科学研究会 高等教育情報センター

[ 参加要領 ]

日時：■高等教育活性化シリーズ 241 科研費の申請・獲得策とその実際 Ⅲ  
 2013年8月5日(月) 10:00~16:50  
 ■高等教育活性化シリーズ 242 研究活動倫理の検証と進化策  
 2013年8月7日(水) 9:40~15:30  
 会場：剛堂会館(明治薬科大学)会議室(東京・麹町)※両日程、同会場  
 千代田区紀尾井町3-27 TEL 03-3234-7362  
 (東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩4分、またはJR中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口より徒歩10分)

参加費	ご一名 (資料代を含む)	メディア参加 (資料及び音声CD送付)
高等教育活性化シリーズ 241 科研費の申請・獲得策とその実際 Ⅲ	42,000円 (消費税込)	43,000円(送料、消費税込)
高等教育活性化シリーズ 242 研究活動倫理の検証と進化策	39,000円 (消費税込)	40,000円(送料、消費税込)

※参加費の払い戻しは致しません。申込者のご都合が悪いときには、代理の方がご出席ください。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ、FAX または Email にてご送付ください。  
 受講証と会場地図を送付しますので、必ずご確認ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。  
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通 5829767  
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 \*郵便振替：00110-8-81660  
 口座名 (株)地域科学研究会  
 (ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は⇒<http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/> E-mail: [kkj@chiikikagaku-k.co.jp](mailto:kkj@chiikikagaku-k.co.jp)

お申込み・お問合せ  地域科学研究会 東京都千代田区一番町6-4 ライオンズ第2-106  
 高等教育情報センター TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

2013年 月 日

■高等教育活性化シリーズ 241 (□に✓印を入れてください)  
**科研費の申請・獲得策とその実際 Ⅲ** □ 当日参加 □ メディア参加  
 ■高等教育活性化シリーズ 242  
**研究活動倫理の検証と進化策** □ 当日参加 □ メディア参加  
 支払方法 □ 当日払い □ 銀行振込 □ 郵便振替  
 必要書類 □ 請求書 □ 見積書

勤務先 \_\_\_\_\_

〒

連絡部課・担当者名 \_\_\_\_\_

所在地 \_\_\_\_\_

メールアドレス \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00 ～ 11:00	<p>□ 研究計画調書のチェックポイントと支援の実際 京都大学 岡野 恵子</p> <p>1. 研究計画調書の見方、読み方 (1) 調書を手にする前に頭に入れておくこと (2) どこを見るか (3) 読みながら考えること (4) 図にしてみる</p> <p>2. 支援の事前準備 (1) 情報収集 (2) ターゲットの絞り込み (3) 書き方マニュアル (4) 書き方セミナー</p> <p>3. 支援の実際 (1) 面談 (2) メールによるアドバイス (3) フォローアップ (質疑応答)</p>
11:10 ～ 12:00	<p>□ [明治大学] 教員・研究者からの実践報告</p> <p>A. 科研費を自らの研究計画にどう組み込むか ～私的研究と公的研究～ 明治大学 大黒 岳彦</p> <p>1. 私の科研費採択の履歴を振り返る 2. 科研費に対するスタンス 3. 科研費採択へのキモ (質疑応答)</p>
12:10 ～ 13:00	<p>B. 10年越しで採択された科研費 ～そこに見えてきた科研費取得に向けた取り組み～ 明治大学 小原 学</p> <p>1. これまでの科研費応募履歴を振り返って 2. 不採択であった調書の問題点 3. 身にしみて感じた調書作成支援の重要性 (質疑応答)</p>
14:00 ～ 14:50	<p>□ [東京医科大学] 公的資金獲得のための3年間の取り組み ～学長(リーダーシップ)－研究支援課(事務担当)－医学総合研究所(研究者)による 三位一体の改革について～ 東京医科大学 中島 利博</p> <p>1. 過去の状況 2. 平成22年からの3年間の取り組み (1) 学長のリーダーシップ (2) 研究支援課の奮闘 (3) 医学総合研究所の役割 3. 現状と将来展望 (質疑応答)</p>
15:00 ～ 15:50	<p>□ 地方国立大学における研究推進戦略と科研費獲得支援策 弘前大学 山崎淳一郎</p> <p>1. 地方国立大学の研究推進戦略とマネジメント (1) 山形大学における取組(研究プロジェクト推進室教授の立場から) (2) 宇都宮大学における取組(学術研究部長の立場から) (3) 弘前大学における取組(研究推進部長の立場から)</p> <p>2. 科学研究費獲得支援の実際 (1) 「KAKEN:データベース」の活用法 (2) 計画調書の作成法 (3) 科研費獲得を加速する組織マネジメント (質疑応答)</p>
16:00 ～ 16:50	<p>□ [パネル討論] 科研費獲得に向けてのシナリオ～支援スタッフと教員・研究者の協働 司会 小澤芳明氏 / 明治大学 研究推進部 生田研究知財事務室 事務長 パネリスト 岡野恵子氏 / 大黒岳彦氏 / 小原学氏 / 中島利博氏 / 山崎淳一郎氏</p>

時間	講義項目
9:40 11:10	<p>□ 研究活動と科学者の倫理                      ～不正対策の諸外国の動向を踏まえ～                      日本学術振興会 浅島 誠</p> <p>1. 科学者の行動規範と倫理                      (1) 日本と世界の科学者 (2) ミスコンダクトと倫理                      (3) 国内での取り組み (4) 諸外国での取り組み</p> <p>2. 科学者の行動規範の問題とその根底にあるもの                      (1) 教育の不在 (2) 研究者配分                      (3) 競争原理と雇用 (4) 社会情勢の変化</p> <p>3. 今後に向けての対応                      (1) 政府と科学者の責任 (2) 科学者と雇用のあり方                      (3) 学術への憧憬への再構築 (4) 教育現場と研究現場でやるべきこと                      (質疑応答)</p>
11:20 12:30	<p>□ CITI Japan プロジェクト：                      研究者育成の為に行動規範教育の標準化と教育システムの全国展開                      信州大学 福嶋 義光</p> <p>近年わが国では、研究の場でのミスコンダクトが相次いで報告されている。欧米では、取締りという端末対応から教育というシステム対策へと重心を移している。米国では、全ての生命科学系大学院生等に、行動規範教育を義務化しているが、わが国には組織的に構築されたカリキュラムがなく、統一された教育・研修方法も確立していない。</p> <p>信州大学を中心とする6大学(東京医科歯科大学、福島県立医科大学、北里大学、上智大学、沖縄科学技術大学院大学)では、H24年度「大学間連携共同教育推進事業」として、表記の取組を申請し採択された。</p> <p>この事業は、行動規範教育のカリキュラム構築のために、自然科学系研究者のみならず人文・社会学系専門家も加えた合意形成の場を設け、e-learning教材の作成と改訂を迅速かつ継続的に行うものである。受講後のテストを通じて成績管理を行うことにより、国際標準の行動規範を身につけたグローバルな研究者育成につながることをめざしている。多くの大学・研究機関で、ご利用いただくことを願っている。                      &lt;<a href="http://www.shinshu-u.ac.jp/project/cjp/">http://www.shinshu-u.ac.jp/project/cjp/</a>&gt; (質疑応答)</p>
13:30 15:30	<p>□ 責任ある研究活動に向けたさまざまな取組み                      ～研究推進におけるアクセルとブレーキのあり方～                      早稲田大学 深澤 良彰</p> <p>1. 「責任ある研究活動」への幅広いアプローチ                      (1) 「責任ある研究活動」概観 (2) 「責任ある研究活動」におけるさまざまな要素                      (3) 周知・広報活動の重要性 (4) 行動規範等の規程</p> <p>2. 「責任ある研究活動」に関する学生教育・FD                      (1) 学生対象倫理科目「研究倫理概論」                      —研究者を目指す人々へ—                      (2) 教職員向けオンデマンド研修 (3) 教職員セルフマネジメントセミナー                      (4) 類似度判定機能の提供</p> <p>3. 各種広報活動と委員会体制                      (1) 研究倫理オフィス Web ページ (2) パンフレットと講演会                      (3) 「責任ある研究活動」の「ための委員会体制」 (質疑応答)</p>